

## 平成26年度 第3回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

平成26年11月20日（木）18:30～20:15

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 10名…柏崎、浅羽、井上、神津、澤田、早川、古田、前川、吉田（正）、井手之上  
欠席者 2名…根本、吉田（弘）  
事務局 2名…市民生活課 山中、川瀬  
指定管理者 2名…NPO法人YMCA コミュニティサポート 高橋、沼崎  
傍聴者 0名

配布資料 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声  
2 夏の市民活動・ボランティア体験2014報告  
3 のたろんフェア2015中間報告・参加団体募集要項  
4 サポートセンターデータベース登録・新規異動団体

### 1 報告事項

#### 1-（1）利用状況・利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から資料1に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・10月の利用者数の減少は、2つの台風の影響によるもの。
- ・活動紹介コーナーも常に何かしら掲示がされている状態。空きがあるときはサポートセンターが情報を掲示しているが、情報紙のたろんの「人」記事を集めた展示はよく見られている。
- ・9月の横須賀学の会による「エベレット・W・トムソンを知ろう展」は、緑が丘学院で行われた講演会とのセット企画で、効果的だったと思う。よこばい歩きの会、貝山地下壕保存する会、たんぼぼの会等の展示は固定客がある。

（市民生活課：久里浜・追浜について）

- ・追浜は10月末までの利用者数累積が前年度比増となっているが、24年度から25年度への落ち込みがかなり大きかったため、楽観はできず。機器更新を検討しているところ。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・特になし。

#### 1-（2）夏のボランティア・市民活動体験2014報告

指定管理者から資料2に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・今年度は39団体の参加があった。ここ2～3年、ボラセンと生涯学習センターとコラボ実施してい

るので、そこからの参加団体も含めての数字。広報先に広がりが出た。

- ・アンケートによれば、参加してよかったという意見が多い。参加するきっかけづくりについて、もっと努力していきたい。
- ・大学への出張 PR については、事前、事後に大学側の担当者と綿密に打ち合わせをし、来年度への課題や改善策も検討している。
- ・アンケート結果の、10代・37%という数値が取り組みの成果として表れている。学生だけでなく、他の年代についても参加を増やす手立てを考えていきたい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・ここ数年、自分の団体へのボランティアに関しては、人数が少ないとしても、参加した人はより真剣に取り組んでくれる、という印象がある。
- ・今回は台風の影響でいくつかのイベントが中止になり残念。
  - 例年の実績から、かなりの動員を見込んでいたイベントの中止により、全体の参加者数も減ることを危惧していたが、今年初めてエントリーした団体の企画にかなり参加者が集まって、結果的には例年並みの参加者数となった。
  - 新しい団体が入ってくると、団体側も広報を熱心に行ううえ、例年参加する企画を探している人にも目新しいものとして映るので、どんどん新しい団体を集めていきたい。(指定管理者)
- ・新しい団体にどのように企画を持ってきてもらっているのか。
  - 登録団体には一斉送付をしている。夏の市民活動・ボランティア体験企画募集の時期にDB新規登録する団体には声掛けをしているが、それ以外の時期だともれてしまう。今後新しい団体に参加してもらうための工夫が必要だと感じている。(指定管理者)
- ・資料の参加者データは、回収できたアンケートの中での結果か。回収率も45%と低いので、データとしては信用度が低いのでは。
  - その通り。データは参加者全体の性別や年齢構成ではない。
  - アンケートの配布・回収は、企画団体に任せている。全てのイベントにサポートセンターのスタッフが出かけて行ってアンケートを取ることは難しい。
  - 参加のきっかけや感想は参加者本人に聞かなければならないが、性別や年齢などはイベント終了後に団体にヒアリングをすることである程度把握できると思う。(指定管理者)
- ・参加団体にアンケートの重要性を認識してもらい、回収率が上げられるような工夫を考えては。
- ・参加した人がそのアンケートに答えることで、もっとよいイベントになっていくと思わせるような設問がない。次回への希望や、改善してほしい点など。
- ・屋外でのイベントだと、アンケートをその場で書いてもらうことが難しい場合もある。

### **1-(3) のたろんフェア 2015 中間報告**

指定管理者から資料3に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・11月15日に参加団体一次募集締め切り、すべてのカテゴリが定数に達したので二次募集はなし。
- ・いくつかのカテゴリでは定員オーバーで抽選実施した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・のたろんフェアのテーマとは。  
→「Not Alone ひとりじゃないよ みんなで手をつなごう」というのがテーマ。  
→ここ数年は同じテーマ。毎年第一回の実行委員会で検討し、決定している。

## 2 議題

### 2- (1) データベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料4に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・人数構成が未記入の団体がある。  
→DB 登録申請時はこれから立ちあげ予定ということだったので、人数構成の記入がなくても受付した。(指定管理者)
- ・活動目的が抽象的で分かりにくい団体がある。  
→懇話会の資料では活動目的のみが掲載されているが、登録申請書類には「具体的な活動内容」を記入する欄もあり、そこには講演会や勉強会をするなど、活動を具体的に書いてもらっている。(指定管理者)

### 2- (2) のたろんフェア 2015 への参加について

11月に開催されたメンバー有志による意見交換会で、懇話会のPRを兼ねて、のたろんフェア2015に参加してはどうか、という意見があったことで、懇話会本体で意見交換をした。

(懇話会構成員・事務局からの質問・意見)

- ・のたろんフェアの参加団体一般募集も終わっている時期なので、運営ボランティアという形で、フェア実行委員会が担当する喫茶コーナーや復興応援団ブースなどでお手伝いをしてはどうか。
- ・市民活動サポートセンター運営懇話会というものがあるということ自体知らない人も多いので、PRしていきたい。
- ・懇話会メンバーの中には、実行委員もいるし、自分の所属団体で参加ブースを持っている人もいるので、無理のない程度で参加できればいい。
- ・懇話会のことを知ってもらうことが目的であれば、パネル展示を出してはどうか。
- ・懇話会のメンバーであるという名札を付けてフェア会場を歩き回ってはどうか。
- ・どんなことやっているのか聞かれたら、答えられる範囲でそれぞれ答えて、アピールしたらいい。
- ・スタンプラリー用紙を懇話会で作ってはどうか。
- ・フェアのプログラムの折り込みとして全参加団体の一文紹介が入るので、そこで懇話会の欄を設けることができる。

話し合いの結果、「懇話会のメンバーです」ということがわかるバッジを懇話会で作成し、メンバーはフェア当日に装着、また展示パネルは市で作成する、ということで合意した。

## **連絡事項**

(指定管理者)

- ・横須賀『生涯現役』フォーラム 2014 (11月29日)のお知らせ。

(事務局)

- ・次回の懇話会は2月19日(木)実施予定。

以上